

OMU Students 海外留学レポート



氏名 中濱 大貴
所属 文学研究科 哲学歴史学専攻
西洋史学専修
学年 博士前期課程 2年
留学先 Universität Hamburg
留学期間 2023/4/1~2023/9/27

留学レポート Study Abroad Report

Moin!! 大阪公立大学大学院 文学研究科西洋史学専修の中濱（なかはま）です。
僕は 2023 年 4 月から半年間、ドイツ北部の大都市であるハンブルク(Hamburg)に滞在しました。
最初は、「半年で十分だな」と思っていたのですが、帰国の日が近づくにつれて、
「短かったなあ。まだまだ居たいなあ」と感じるようになりました。
そんなこんなでドイツで実り多い生活を過ごした私ですが、
この「海外留学レポート」で書きたいことがたくさんあります。
全てを伝えることは難しいと思いますが、できるだけ現地での生活を紹介しようと思います。

まず、ハンブルクという街について簡単に説明します。
僕が生活したハンブルクはドイツで 2 番目に大きな町で、大阪と姉妹都市協定を結んでいます。
気候は穏やかで、8 月でも気温が 20°に達しない日も多いです。(今年はやけに雨が多かったです。.)
夏は太陽がなかなか落ちず、夜の 21 時まで明るい時期もありました！
友人曰く、運が良いとオーロラも観れるらしいですよ。
ハンブルクというと少し馴染みが薄いかもかもしれませんが、現地には日本人会がありますし、
街中ではちらほら日本人観光客もいますので、程よい安心感があります。

ドイツ留学や海外留学が初めてだったとしても、安心してください。
ハンブルク大学の日本語学科に所属する学生がチューターとして
色々お世話してくれます。(日本語がとても上手です！)

僕自身、ドイツへの留学は今回で 3 回目ですが、ハンブルクは初めて訪問しました。
過去にベルリンとミュンヘンに滞在したのですが、街が違えば人も違います。
ベルリンはいわば東京のような国際都市、ミュンヘンは京都のような歴史のあるゆったりとした街、
ハンブルクは大阪のような、少しせっかちな商人の街という感じがしました。
ドイツ人のコミュカは凄まじく、日本が大好きな男性から「あなたは日本人ですか？」と
突然声をかけられたこともありました。
大抵のドイツ人は英語も上手です。なので、ドイツ語でのコミュニケーションが難しい場合は、
すぐに英語に切り替えていきましょう。

僕が留学に踏み切った理由は、修士論文で必要になる歴史史料を集めようと思ったからです。

日本にいる時に史料の保存されている文書館の情報を事前に調べておいたので、

留学中はスムーズに研究活動を行うことができました。

他にもハンブルク大学の現代史ゼミに参加したり、歴史学の学会に訪問したり、

いろんな博物館で見学したりと、日本で得られる数倍の情報量を短期間で得ることができました。

ハンブルク大学では、主にドイツ語（B2）の授業と、歴史学の講義とゼミに参加しました。

専門分野で知識はある程度あったので、大まかな授業内容は理解できるのですが、

単語 1 つ 1 つや聞き慣れない専門用語を聞き取ることはまだ難しかったです。

なので、スマホで毎回レコーディングして、後で聞き直すなど工夫を凝らしていました。

他にも授業内でドイツ人学生の友人を作り、授業後に先生の言わんとすることを彼に確認していました。

ゼミでは、ドイツ語で僕の修士論文の研究発表をする機会をもらいました。

一から原稿まで作って万全の準備で挑みましたが、今までにないくらいに緊張してしまいました。。

僕はドイツ語での授業しか取りませんでした。英語で開講される授業もありますので安心して下さい！

そして時々、日本語学科の授業アシスタントとして参加する機会もありました。

テーマはバラバラで、「日本のポップカルチャー」や「日本の教育制度」、「日本の歴史」など、

ドイツ人と日本語でディスカッションしたり、彼らが作成したプレゼンを聞いたりしました。

「なんでそんなことまで!？」というような、僕らでも知らない日本の知識を披露してくるので、

こちらも頑張らなければと思わされることが度々ありました。

現地では学生寮にお世話になりましたが、お世辞にも綺麗・快適とは言えませんでした。。

シャワールームにはカビが大量に繁殖しており、キッチンの電子レンジはネトネトで触りたくもない。

こんな寮生活にさらに追い打ちをかけるのが、週末に寮内で行われる爆音のディスコ・パーティ。

夜の 2 時まで響き渡るビート音の中、就寝につくのは困難でした..

この不快な寮生活の唯一の慰めは、同じ苦行を経た 3 人のルームメイトとふかふかのベットだけです。

(彼が作ってくれたスクリーンが通って、テレビの音も聞こえなくなりました。)

お話的に面白くなかったかもしれませんが、特に大きなハプニングもトラブルもなく生活できました。

この半年間のドイツ生活は自分にとって、自身の研究上でも、人生の経験上でも、

非常に実りのあるものとなりました。

正直、日本にいただけではもったいないと思います。これをご覧の皆さんも積極的に海外に出て、

さらに知見を深めて、それを日本に還元して欲しいと思います。

最後に、僕が留学中にとった写真を紹介します。

今回のドイツ留学の目的の 1 つに、「ドイツを満喫する」というテーマを掲げました。

他の留学生はイギリスやスペインなど、ヨーロッパを堪能していましたが、

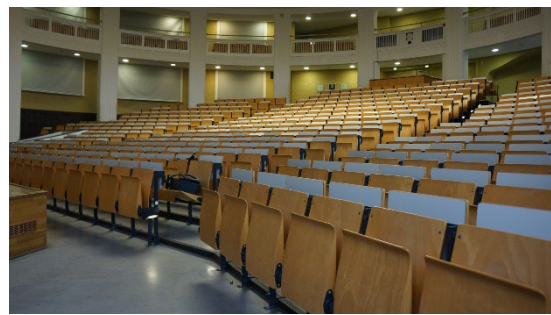
僕はドイツを極めたい一心で、できるだけ多くの街を訪問しました。

(キール、ブレーメン、コブレンツ、ベルリン、ロストック、シュヴェリーン、ヴィスマール、ジルト島、
リュネブルク、ライプチヒ、フレンスブルク、フランクフルト・アム・マイン、リュベック、等)

訪問した街や施設、寮の写真をお楽しみください。



★ハンブルク大学 メインキャンパス 大講義場 (Hamburg)



★ハンブルク大学 メインキャンパス 大講義場 内部 (Hamburg)



★内アルスター湖(Binnenalster) (Hamburg)



★エルブフィルハーモニー・ハンブルク 大ホール (Hamburg)



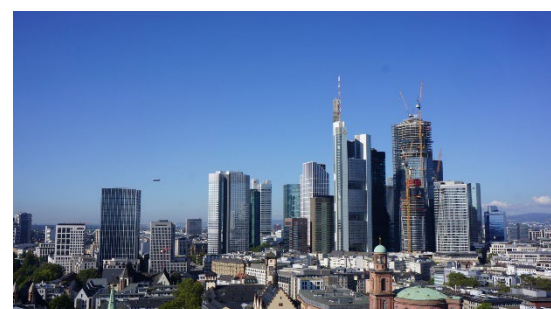
★シュヴェリーンの街並み(Schwerin)



★シュヴェリーン城 (Schwerin)



★コブレンツとライン河 (Koblenz)



★フランクフルト・アム・マインの超高層ビル (Frankfurt am Main)



フレンスブルクの街並み (Flensburg)



ハンブルク電波塔 (Hamburg)



歴史学の学会で訪問したライプチヒ大学 (Leipzig)



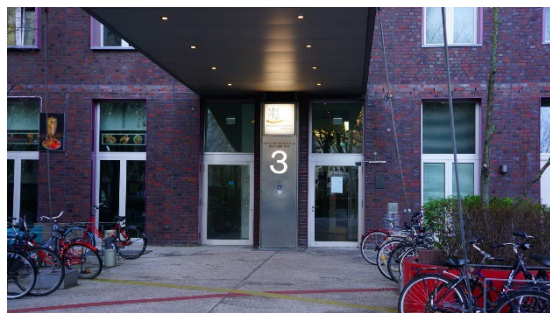
ロストックの街並み (Rostock)



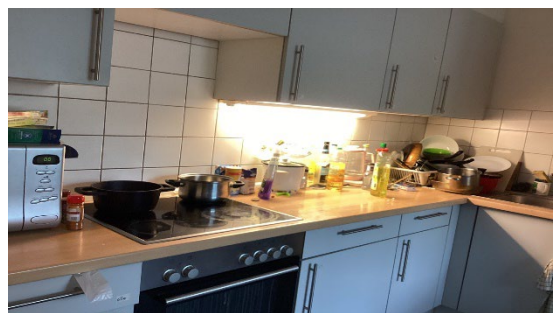
ハンブルク美術館(Kunsthalle Hamburg)



リューベックのホルシュタイン門 (世界遺産) (Lübeck)



学生寮の入り口(Hamburg)



学生寮のキッチン (散らかっていてすみません。。) (Hamburg)



ベルリン電波塔 (Berlin)